

# SDGs JAPAN SCHOLARSHIP 岩佐賞

# 第4回「SDGs岩佐賞」受賞者発表！

つなげよう、地球の未来。



公益財団法人  
岩佐教育文化財団  
代表理事 岩佐 実次

受賞された方々、おめでとうございます。この賞も回数を重ね、受賞者の方々の活躍を見聞する機会が増えました。うれしい限りです。今回、応募方式による選考とは別に「特別賞」を設け、やり投げの北口穂花選手に授与しました。誰かの頑張りは、誰かを元気づけたり励ましたりするはず。北口選手は、まさにそれを実践してくれたと思っています。次回も多くの皆さんのエントリーをお待ちしています。

岩佐実次

目の前の課題に真摯に向き合い、SDGs達成に向けて活動している人々を応援したい——。そんな思いから、公益財団法人岩佐教育文化財団が2022年に創設したのが「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」(SDGs岩佐賞)です。

第4回の応募総数は582件。厳正な審査を経て、全8部門の受賞者が決定しました。すべての受賞者の活動詳細と喜びのコメントは、朝日新聞SDGs ACTION!に掲載しています。

来月からは、第5回「SDGs岩佐賞」のエントリーが受け付け開始。岩佐教育文化財団はこれからも、SDGs達成のために地道な努力を重ねるみなさんを応援し続けます。

## 特別賞

### 世界選手権の女子やり投げで日本勢初の金メダル獲得

北口穂花さん(日本航空)



賞金 300万円

昨シーズンは、世界選手権で金メダルを獲得し、陸上の世界最高峰の大会であるダイヤモンドリーグでも年間チャンピオンになることができました。これからも、自分のやり投げの「完成形」に向けて、成長し続けていきたいです。今年の夏は、大きな世界大会も控えています。挑戦者の気持ちで最善の準備をして臨むことはもちろん、現地の雰囲気も十分に楽しみなが、良い結果を残せたらと思います。

## 医療の部

### コロナ禍、若手医師が結集 地域医療を下支え

一般社団法人KISA2隊  
(代表者 守上佳樹さん)



賞金 3,000万円

コロナ禍で危機感を持った医師介護職が結集して訪問診療チームを設立。医師会や訪問介護ステーション、調剤薬局などと垣根を越えて協力し、入院できない患者に入院と同等かそれ以上の医療介護サービスを提供する活動を続けてきました。現在、取り組みは21都道府県、約30地域に広がっています。各地の医師会とも連携し、ノウハウの共有をしています。

### 医療的ケア児と家族が笑顔で暮らせる社会に

一般社団法人  
スペースオ  
(代表者 鈴木啓吾さん)



賞金 100万円

医療的ケア児と家族に向けて、ガイドブックやコミュニティサイトでの支援情報の発信を続け、安心して笑顔で暮らせる社会を目指して活動しています。

### 11言語のウェブサイトや 子育てや医療の情報を外国人に提供

日本で暮らす外国人にルーツを持つ子どもの  
Early Childhood Development  
推進研究会 (代表者 森山すみさん)



賞金 100万円

日本で暮らす外国人に妊娠・出産や子育てに関する情報を日本語で提供するとともに、国内の保健医療福祉職にある人たちに、各国の文化、医療事情を発信しています。

### ドローンとAIで マラリア撲滅

SORA Technology株式会社  
(代表者 金子洋介さん)



賞金 100万円

マラリア撲滅のため、アフリカでドローンとAI(人工知能)を組み合わせた蚊の駆除事業に取り組みしています。実証実験が進み、シエラレオネでは事業化する見込みです。

## 教育の部

### 悩む高校生と 介護福祉をつなぐ

介抱実習生プログラム実行委員会  
(代表者 毛受芳高さん)



賞金 300万円

不登校や経済的困窮などの問題を抱えた高校生と、人手不足に悩む介護福祉業界をつなぐプログラムを実施しています。資格を得て施設で働き、進路選択に必要な収入を得る仕組みで、高校生の社会的自立を支援しています。

### 全ての子どもに かけがえのない体験を

認定NPO法人フローレンス  
(代表者 赤坂緑さん)



賞金 300万円

社会的課題となっている「子どもの体験格差」を解消するため、経済的困難を抱える家庭や障害児のいる家庭に、インナーや外食、職業体験などを提供しています。参加者の反応から、学びや体験の機会の大切さを再認識しています。

### 学食拠点に地域知り、つながる

香川県立三本松高等学校  
(代表者 入道利俊さん、山地結生さん)



賞金 200万円

高校の学食を拠点に、地産地消と食品ロス削減などに取り組んでいます。地域の人も学食の利用や弁当の注文ができますようにしており、高齢者との交流も進んでいます。

### 女性の理工系進学を応援

NPO法人女子中高生  
理工系キャリアパスプロジェクト  
(代表者 植松崇之さん)



賞金 100万円

ロールモデルの少ない女性の理工系進路の魅力を知ってもらおうと、女子中高生を対象にした合宿などを開催しています。これまでの2000人超の生徒が参加しています。

### 貧困の連鎖を断ち切る

認定NPO法人わたしと僕らの夢  
(代表者 佐藤有里子さん)



賞金 100万円

ひとり親・困窮家庭への食事・生活支援のほか、オンラインを使った子どもの学習支援や就労支援にも取り組んでいます。要望を受け、熊本県小国町に無料塾も開設しました。

### 「多文化共生」目指して 外国人市民を支援

NPO法人ABCジャパン  
(代表者 安富智美恵江さん)



賞金 100万円

外国人にルーツを持つ中学生や高校生への学習支援や通訳活動、その親たちへの日本語教室などを実施。ルーツが異なる人々がともに暮らしやすい社会を目指して活動しています。

## 福祉の部

### アートを通じて 障害への偏見、差別をなくす

株式会社ヘルポニー  
(代表者 松田崇彦さん(左)、松田文登さん(右))



賞金 300万円

障害のある作家が創作するアート作品を通じ、一人ひとりが公平に活動できる社会の実現を目指しています。これまで国内外の作家約150人と契約し、報酬はこの2年間で8.7倍に増加しています。

### 駄菓子屋を居場所に 「地域で子育て」目指す

一般社団法人無限  
(代表者 石田慶子さん)



賞金 200万円

子どもたちの「行きつけの場所」づくりに取り組みしています。大人の寄付や協力により、子どもは100円の「チロリ」で、100円以上の食事やおやつを食べることができ、

### 足に振動伝えるシステム開発で 視覚障害者の外出を支援

株式会社Ashirase  
(代表者 千野歩さん)



賞金 300万円

視覚障害者が一人で外出できる誘導システム「あしらせ」を限定販売しました。単独歩行の不安を解消し、知らない場所へもスムーズに移動できるように開発したものです。一般発売、そして海外展開も進んでいます。

### 犬と人が一体となって 社会の安全・安心に貢献

NPO法人北東北捜索犬チーム  
(代表者 岩本良二さん)



賞金 100万円

東日本大震災を機に、災害救助犬の育成に取り組みしています。日本では民間による活動がほとんどですが、災害が毎年多発するなか、訓練環境の整備が急務だと考えています。

### 3Dプリンターで 障害者を支援

一般社団法人ICTリハビリテーション研究会  
(代表者 林園子さん)



賞金 300万円

障害者の暮らしを豊かにするため、3Dプリンターを活用して補助具やリハビリ用具をつくる取り組みを進めています。個別のニーズに応じた製品が安価につくれます。情報を共有するプラットフォームも開設しました。

### 苦しい体験から 子育て支援活動

NPO法人子育て応援レストラン  
(代表者 若林優子さん)



賞金 100万円

ひとり親として苦しい時、誰かの手助けがほしい。その経験から、困窮する子育て世代に食事や食材、日用品を提供。思い出しにつながる無料イベントも開催しています。

## 環境の部

### ゲノム解析用いた世界初の サンゴ植え付けで海洋保全

沖縄科学技術大学院大学  
OISTサンゴプロジェクト  
(代表者 佐藤矩行さん)



賞金 1,000万円

ゲノム情報を利用して、人間活動や気候変動の影響を受けて絶滅の危機にあるサンゴ礁の保存・再生を目指しています。企業や自治体、漁協関係者と連携しながら、どの場所にも適した種類のサンゴが生息し、健全なサンゴ礁がどう保たれているかを調べ、最も適した海へのサンゴの植え付けを世界で初めて試しています。サンゴ礁は生物多様性を支える「生物のゆりかご」。子どもたちへの海保全につながるSDGs教育もおこなっていきます。

### 電子タグとカタログ化で 里山再生

里山広葉樹活用研究会  
(代表者 黒田慶子さん)



賞金 100万円

里山の保全再生には資源の循環的な利用が必要です。従来の流通ルートを変え、ICT(情報通信技術)を使って伐採前に森林所有者の収益を確保する仕組みづくりに挑戦しています。

### 「地産地消」の 自然エネルギー推進

一般社団法人やちよ未来エネルギー  
(代表者 高山敬明さん)



賞金 100万円

自然エネルギーの地産地消を目指す。屋上や屋根を借りて自分たちで組み立てた太陽光発電装置を設置したり、楽しみながら学べるエコ教育をおこなったりしています。

### 指先のおしゃれで地球を守る

有本奈緒美さん  
(Plumeria Nail代表、  
海ごみネイルアーティスト)



賞金 100万円

車椅子を使う障害者として暮らすなかで、海洋ゴミのプラスチック片をネイルチップ(つけ爪)のパーツに再利用する事業を始めました。「おしゃれで地球を守る」が合言葉です。

## 経済の部

### ミャンマー農村部へ 生活用品を配達

リンクレージョン株式会社  
(代表者 黒柳英哲さん)



賞金 100万円

### 水からはじまる自立支援、 エチオピアで女性の地位向上へ

認定NPO法人ホープ・インターナショナル開発機構  
(代表者 ベア・ジェリアンさん)



賞金 100万円

エチオピアで電力が要らない水供給設備を建設しています。往復1-2時間の水くみから解放され余裕ができた女性たちが小規模ビジネスの立ち上げを促し、自立できるような支援を続けています。

### ブラジル人の定住と自立を 農業で支援

イスマ・アグロブラジル  
(代表者 滝浪美セルジオさん)

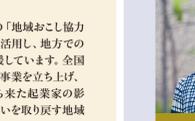


賞金 300万円

鳥根県出雲市で耕作放棄地や遊休農地を無償で借り受け、定住希望のブラジル人に貸し出す事業を展開。生活が不安定な彼ら彼女らの状況改善を目指しています。生活した野菜や果物は地元のスーパで販売しており、地域交流も深まっています。

### さまざまな違いを音楽やアートでつなぐ

一般社団法人Get in touch  
(代表者 東ちづるさん)



賞金 200万円

俳優の東ちづるさんが代表となり、音楽や舞台を通じて誰も排除しない「まぜこぜの社会」実現のために活動しています。舞台では、義足や車いすのプログラマー、マイノリティパフォーマーが結集します。

### 防犯ブザー使い、コミュニティの 連帯で性犯罪防く

NPO法人Gawain  
(代表者 櫻井昌佳さん)



賞金 300万円

インドのスラム街で、レイプの撲滅活動に取り組みしています。各家庭の女性に防犯ブザーを配布し、音が鳴ると周囲の人がその場所に駆けつけることで互いに守り合う仕組みです。女性が安全に暮らせる環境づくりを支援します。

### 絵本と演劇でイラクの紛争を止める

一般社団法人ピースセルプロジェクト  
(代表者 高遠穂子さん)



賞金 100万円

長く紛争の続いたイラクで「報復の連鎖」を断ち切る教育プログラムに取り組みしています。絵本の読み聞かせや演劇の手法を取り入れ、若者や子どもたちを対象に、他者への想像力や共感力を育みます。

## 芸術・スポーツの部

### 心地よい手触りや 優しい器を求めて

漆とロック株式会社  
(代表者 貝沼航さん)



賞金 300万円

### あらゆる境遇の子たちに 演劇を届けたい

NPO法人心魂プロジェクト  
(代表者 寺田真実さん(左)、  
有永美奈子さん(右))

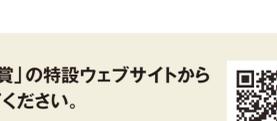


賞金 300万円

難病や障害で劇場に来ることが難しい子どもたちのもとへ、演劇などの「劇場空間」を届けています。俳優たちが病院や学校を訪れ、オンラインでも交流します。難病児や障害児が公演する劇に回る「心魂キッズ団」も結成しています。

### 1万kmを超えた民謡交流

一般社団法人エチオピア・アートクラブ  
(代表者 山本純子さん)



賞金 100万円

エチオピア音楽の愛を帯びた調べは日本の民謡と同じ音階をもち、互いにシンクロして一つのメロディーを紡ぎ出します。双方のミュージシャンの交流を促し、他にはないハイレベルな音楽を生み出すプロジェクトです。

## 農林水産・食の部

### 家族のアレルギーを機に 安全・安心な食を提供

株式会社ReliefFood  
(代表者 加納順人さん)



賞金 300万円

### 「公共冷蔵庫」で 余剰食品を困窮者に

草加商工会議所青年部  
(代表者 桑原信人さん)



賞金 300万円

事業者や個人が余った食品を入れ、必要とする人が自由に持ち出す「公共冷蔵庫」の仕組みを取り入れ、生活困窮者支援活動に取り組んでいます。ロス削減で浮いた処理コストで運営を賄っています。

### 山林に人の手、 自然も地域も元気に

NPO法人活エネルギーアカデミー  
(代表者 山崎昌彦さん)



賞金 100万円

### 必要量だけ水揚げ、 漁師の働き改革を実現

富永邦彦さん  
(邦美丸代表)



賞金 100万円

### 廃棄されていた柿の皮から 化粧品を開発

株式会社和人  
(代表者 小林味愛さん)



賞金 100万円

福島の役に立ちたいと、規格外の果物を県外へ流通させる仕組みをつくりました。「あんぼ柿」の製造過程で廃棄されていた柿の皮を使った化粧品も開発しています。

第5回「SDGs岩佐賞」は、来月からエントリー開始！

2024年  
応募期間  
4月12日(金) ~ 5月13日(月)

「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」の特設ウェブサイトから応募フォームに記入のうえ送信してください。  
特設ウェブサイト <https://sdgs-iwasazaidan.com>



すべての受賞者の活動詳細、受賞コメントは朝日新聞SDGs ACTION!で公開中!  
<https://www.asahi.com/sdgs/brand/iwasashi/>

朝日新聞社は「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」のメディアパートナーです。  
公益財団法人 岩佐教育文化財団

- 財団の主な活動
- 大学生を対象とした奨学金給付活動
  - ナチュラル農業体験・環境教育活動
  - 高校生を対象とした奨学金給付活動
  - 「岩佐賞」授与活動
  - 災害支援活動

お問い合わせ / 「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」事務局 TEL:050-3623-0751(10:00~17:30) Mail: jimukyoku@sdgs-iwasa-zaidan.com